

子どもぼうさい甲子園で

白金小学校が特別賞を受賞



募金に協力してもらうため、児童達が作った動物の貯金箱

一昨年に起こったイラン大地震をきっかけに、絵や手紙・募金を送り、現地の子ども達を励まし続けた白金小学校の児童達(平成15年度の2年生92人)が、1月8日神戸市で開催された「子どもぼうさい甲子園」で、審査員特別賞を受賞しました。当日は表彰式・発表会が行われ、児童達は、国境を越えた助け合いの心を、全国から参加した子ども達の前で発表しました。

子どもぼうさい甲子園とは?

阪神・淡路大震災10周年記念事業として、「人と防災未来センター」、「毎日新聞社」、NPO法人「CODE海外災害援助市民センター」が企画したもの。自然災害から命と暮らしを守るため、学校や地域・家庭で防災教育活動に取り組んでいる子ども達の活動を募集し顕彰するもので、子ども達の防災意識を高めるのが狙い。今回、学校やグループなど、26都道府県から87の応募があり、選考の結果、防災大賞1点、優秀賞3点、入選5点、審査員特別賞2点が選ばれた。

白金小学校平成15年度2年生の活動内容

生活科や道徳の授業で「支え合う心」をテーマに学習していた児童達のもとに、4万人が犠牲となったイラン大地震のニュースが飛び込んできました。児童達は、家族から聞いた話や、新聞・インターネットで調べたことを参考に被災者に対して自分達ができることを考え、まず募金と絵を贈ることにしました。児童達は、ポスターを校内に展示

し、可愛い募金箱を一人ひとり作り、協力を呼びかけました。さらに、家族に「お手伝いをするから募金をしてね」

差別をなくすために、社会全体で考えよう! 第34回猪名川町人権・同和教育研究会を開催

人権・同和教育の研究と実践を通じて、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて一緒に考え、実践しましょう。

と手紙を書きました。こうして集まった5万円と新品の文具、「元氣が出る」をテーマに笑顔や虹などを描いた絵約90枚を現地に贈りました。その後、イランの子ども達からお礼の絵が約100枚届き、それに応え、今度は児童達が「早く笑顔を取り戻して」と書いた手紙を送るなど、国境を越えた心の交流を続け、災害時に欠かせない助け合いの精神を学びました。

問い合わせは、学校教育課(766・6006)へ。



今が旬「乳がん検診」

坂田診療所 坂田哲啓医院長

過去の我が国においては、欧米諸外国に比較して乳がん患者数は少ない傾向にありましたが、近年の生活スタイルの欧米化および女性の社会進出などにもとない、発生数が急激な増加を呈しています。現在、年間約34,000人の女性が乳がんにかかり、女性の部位別癌発生数では第1位となりました。一方、女性の乳がん死亡数は年間約9,200人で、その部位別死亡数の順位は、胃癌、肺癌、結腸癌、肝癌に次いで第5位です。つまり乳がんは、他の部位の癌と比べて予後が良好であり、早期発見を目的とする乳がん検診のシステム確立が

熱望されてきました。国際的には、乳がん検診の基本は「マンモグラフィ(乳房X線装置)による検診」であり、既にこれを導入している欧米の多くの国では、乳がん死亡率は低下しています。一方、我が国では昭和62年に「問診・視触診による乳がん検診」が開始されましたが、乳がんの死亡率低下には寄与しなかったと言われていました。欧米諸外国に遅れること約10年から20年、平成12年に「問診・視触診にマンモグラフィを併用する乳がん検診」が開始され、ようやく欧米諸外国と肩を並べる様になりました。しかし、さらに重要な問題点があります。米国では、40歳以上の全検診対象人口の60~70%の人が2年に一度はマンモグラフィ検診を受けていますが、我が国では厚生労働省が目標とする受診率30%に達するにも程遠いのが現状です。つまり、システムが確立されても、死亡率低下に寄与する為には、より多くの人々が検診を受ける事が重要であり、真に今が旬であると考えます。

21世紀の主役たち

おやじの会



真田町長が訪ねた

父親の存在について語り合う、おやじの会メンバーと真田町長

中谷中学校PTA活動の中に「おやじの会」があります。この会は、父親がもつ子どもとの接点を持つと、平成7年に発足しました。現在会員数は21人、子ども達の心豊かな成長を見守っています。

町長 発足のきっかけを教えてください。 会長 思春期を迎えた子どもとの関わりに、父親同士がざっくばらんに話し合える必要性と、その主旨への賛同者が多かったことがきっかけで設立しました。

おやじの出番

町長 どんな活動をされているのですか。 会長 現在は、校内マラソンのコース観覧や体育大会に駐車場整理を担当するなど、学校行事に協力したり、親父同士の親睦を図っています。 会員 発足当時は、いじめ問題を真面目に話し合ったこともあります。お互いの悩みを情報交換できる場となっています。 会長 親睦では、お酒を飲みながら和気あい

あいと語り合っています。 町長 子育ては母親任せではなく、お父さんも一緒に取り組むことは大切なことですね。 会長 仕事など多忙な中で、会員数は年々減少してきましたが、親の盛り上がる様子を見れば、きっと子どもも感化されると思います。 町長 父親同士、いろんな意見交換をしたいと思っています。 そのために一人でも多くの会員が増えることを望んでいます。 会長 中学生は、人間形成の過程で最も大切な時期です。そういった時にこそ、父親としても子どもの成長をしっかり見届けることが大切だと思います。 会員 つい仕事に追われ、子どもとのコミュニケーションも薄れがちですが、しっかりと向き合うことも親父の役目ですね。 町長 学校をどう支えていくかは、PTAや地域の努めでもあると思います。自慢できる学校に、親父の力を発揮してください。

猪名川町明るい選挙推進講演会開催

とき 2月19日(土)午後2時~同4時
ところ 日生住民センター
テーマ 一票を投じる前に
講師 福家 清美さん(神戸婦人有権者連盟会長)
参加費 無料
内容 選挙に行きますか選挙について考えましょう 各国の選挙 さあ、今日から私たちは 問い合わせは、猪名川町明るい選挙推進協議会事務局(総務課内 766-8708)へ。

とき 2月19日(土)午前10時~午後3時(受付は午前9時30分)
ところ 文化体育館・生涯学習センター
内容 午前の部「基調講演(午前10時15分~同11時45分・文化体育館) 午後の部「分科会(午後1時~同3時・文化体育館、生涯学習センター)
演題 人の世に熱と光
講師 清原隆宣さん(御所市立大正中学校教諭)
どなたでも自由に参加できます。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。 問い合わせは、木津総合会館(766・0217)へ。

「振り込め詐欺」に御用心!

最近、全国的に警察官や弁護士をかたたり、数人の人間が電話口で入れ代わり、言葉巧みに指定した口座に現金を振り込ませる詐欺事件が多発しています。町内でも、電話を受けて300万円を振り込まうとした女性が、金融機関窓口の係員に声をかけてもらったおかげで、被害を未然に防いだケースがあります。

詐欺被害の防止3箇条

振り込む前に110番通報
お金は絶対に振り込まない
落ち着いて事実を確認する

最近、全国的に警察官や弁護士をかたたり、数人の人間が電話口で入れ代わり、言葉巧みに指定した口座に現金を振り込ませる詐欺事件が多発しています。町内でも、電話を受けて300万円を振り込まうとした女性が、金融機関窓口の係員に声をかけてもらったおかげで、被害を未然に防いだケースがあります。問い合わせは、生活環境課(766・8712)へ。